

B—5 大学女子学生の人体比例に関する二、三の考察

三重大 ○伊藤 令子
昭和学院短大 桃 チヨ
聖和学園短大 雁部 愛

1. 衣服寸法研究グループの調査研究の一環として、昭和36年度に行なった宮城県聖和学園短大、千葉県昭和学院短大の女子学生（18～25歳）合計222名の身体計測結果を用い、人体比例について二、三の考察を試みた。

2. 衣服寸法に関係の深い14項目（身長・総丈・背丈・前胴丈・袖丈・胸囲・胴囲・腰囲・頸囲・腕付根囲・手くび囲・頭囲・背肩幅・乳頭間幅）、並びに身長に対する長さ及び幅の比率7項目、胸囲に対する周径及び幅の比率9項目、計30項目について集計整理を行なった。

3. 身長に対する長さの比率は総丈約86%、背丈約24%、袖丈約33%、胸囲に対する周径項目の比率は頸囲約44%、胴囲約74%、腰囲約109%であった。これらの成果は衣服原型を作図する場合や、被服構成指導の場合の参考資料になると思われる。